

暑を逃れて、近場で涼しい名山満喫 赤城山（地蔵岳～長七郎山）

実施日 2024年9月7日(土)
 天候 曇り
 リーダー 遠井 謙策
 参加者 遠井謙策、村山智子、花川真弓、山内幸子 計4名
 費用 6,336円(大宮起点、JR+バス)
 タイム 前橋駅(8:45)展望下BS(9:45)見晴山(10:05)地蔵岳(11:30)・昼食(12:15)八丁峠(12:45)小沼湖畔(13:00)長七郎山(13:30)小地蔵岳(14:00)鳥居峠(14:45~15:20)覚満淵(15:30)ビクターセンター(16:00~40)前橋駅(17:50-18:15)JR)
 行動 6時間15分(休憩等1時間20分) ↑460円 ↓520円

こぶし会の新しい顔3人と歩く新鮮な山旅が実現した。暑さで名を馳せる前橋駅から赤城山方面行きのバスに乗る。途中から乗車したこれからキャンプへ向かうという元気な子供たちと楽しく会話しているうちに、今日の登山口の展望台下へ着いた。



手始めに往復15分の見晴山で足慣らし。歩行は快調だが空の色が青からグレーに。不安を感じつつ地蔵岳への予定

のコースを登り始める。傾斜も緩く登り易い。ダックスフントを友に登っていく壮年の男性と挨拶を交わす。

連れてくる彼女はまだ16歳のおばあさんなのだが、全国の山を幾つも登っているベテランクライマーなのだ。岩と斜な道傾きに急ぎが、声掛けあって頑張る。



頑張ればそこにはご褒美が。生憎のどんより空だが、電波塔がある石ころだらけの広い山頂からは、正面にどーんと最高峰黒檜山、眼下には静かに水をたたえた大沼、鮮やかな朱色の赤城神社が目をくぎ付けにする。しし見とれ「今度は黒檜山絶対登ろうね！」などと歓声を上げていたが、やがて落ち着くと小腹に空腹を感じる。



どっかと腰を下ろし昼食を取った。余裕が出来周りを見渡すと、多くの登山客があり犬を連れている人が目立つ。犬に人気がある山なのだろうか？

ススキが揺れ赤とんぼが飛んでいる。思えば吹く風は涼しく爽やかだ。秋はもうすぐそこまで来ている。

惜しむように山頂を後にする。長〜い木段を降り小沼湖畔へ出る。?静かな湖畔の森の影から。。。そんな雰囲気がある。右に折れ長七郎山へひと登り。小地蔵岳を経由して鳥居峠へと歩を進めていく。大きな休憩所がありソフトクリームのおブジェが呼んでいる。

濃厚な味に舌鼓を打ちながら、そこで暫しの大休止。仕上げの覚満淵はさながらミニ尾瀬を思い起こすが、残念ながら季節的に花に恵まれず又木道が一部破損しゆっくり散策できにくいことから、ちょっとだけ期待外れであった。

帰りのバスも疲れによる居眠りが通常だが、今回メンバーは元気一杯。終点までおしゃべりし通しだった。



前橋駅に着くと元通りの猛暑、現実には厳しい。反省会は電車の中。

始発の直通が丁度あり、飲み物を買込みワンボックスを占領。気を付けたつもりだが、盛り上がった宴席は周りのお客には「若干」ご迷惑をお掛けしたかも。。。

(記&写真・遠井 謙策)
(写真提供・村山 智子)